

機械器具 74 医薬品注入器

一般医療機器

調整用薬液注入コネクタ 70396000

セーフティ採液アダプタ

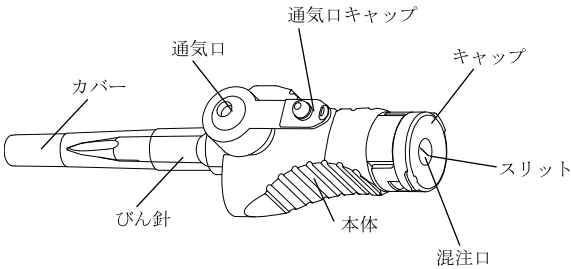
再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

〈構造図〉



〈原材料〉

構成部品	原材料
混注口※	イソpreneゴム
びん針	ポリカーボネート
本体	ポリプロピレン

※潤滑剤としてシリコンオイルを塗布する場合がある。

〈仕様〉

項目	性能
気密性	50kPa
引張強度	15N

〈原理〉

本品は、血液バッグや薬液容器等に本品のびん針部を刺通（接続）した後、混注口からシリンジ等を介して、血液バッグや薬液容器等の血液、薬液を採取することができる。

【使用目的又は効果】

血液バッグや薬液容器等にびん針部分を刺通して、バッグ内や薬液容器等に薬液等を注入・採液する。

- 【使用方法等】
- 包装から本品を取り出す。
 - カバーを外し、血液バッグや薬液容器等に刺通する。血液バッグに刺通する場合、本品の通気口を通気口キャップで閉じる。
 - 次のいずれかの方法で混注又は採液を行う。
〔シリンジ（おすルアーテーパー（ロックなし）のもの）を使用する場合〕
 - 消毒用アルコール綿等で混注口及びキャップ天面を消毒する。
 - 混注口にシリンジのおすルアーテーパー（ロックなし）を垂直に挿入し、先端が止まるまで確実に押し込む。
 - ゆっくりと薬液等を混注又は採液する。
 - 混注又は採液後、シリンジを混注口から引き抜き、消毒用アルコール綿等で混注口及びキャップ天面に付着した薬液等をふきとる。

〔PNロックを使用する場合〕

- 消毒用アルコール綿等で混注口及びキャップ天面を消毒する。

- PNロックを有する医療機器のPNロックのカバーを外し、PNロックのおすルアーテーパーを混注口にまっすぐ押し込む。押し込んだ状態でPNロックナットをそれ以上回らない位置まで右に回転させ、本品の突起（ツメ）と接続し、混注又は採液する。
- 混注又は採液後、接続を外す際は、PNロックを押し込んだ状態で左に回転させ、ゆっくり外す。
- 消毒用アルコール綿等で混注口及びキャップ天面に付着した薬液等をふきとる。

- 〔加圧混注を行う場合〕
- 本品の通気口を通気口キャップで閉じる。
 - 消毒用アルコール綿等で混注口及びキャップ天面を消毒する。
 - 混注口にシリンジのおすルアーテーパー（ロックなし）を垂直に挿入し、先端が止まるまで確実に押し込む。
 - 混注後、シリンジを混注口から引き抜き、消毒用アルコール綿等で混注口及びキャップ天面に付着した薬液等をふきとる。

- 〈使用方法等に関連する使用上の注意〉
- 本品を鉗子等でたいたり、衝撃を与えたりしないこと。〔キャップ等が破損するおそれがある。〕
 - 血液バッグや薬液容器等にびん針を刺通する際は、次の事項に注意すること。
 - びん針を斜めに刺通したり、刺通中に横方向への力を加えたりしないこと。〔びん針の曲がり、破損が生じるおそれがある。〕
 - 薬液容器等に刺通する際は、びん針の段差部分まで薬液容器等に刺通すること。〔刺通不十分な場合、外れ、空気混入等が生じるおそれがある。〕
 - 血液バッグに刺通する際は、びん針の根元部分まで血液バッグの取出口に刺通すること。〔刺通不十分な場合、外れ、空気混入等が生じるおそれがある。〕
 - 血液バッグに刺通する際は、血液バッグの壁面に針先が接触しないようにすること。〔血液バッグが破損し、液漏れや血液バッグの取出口の削り片が生じるおそれがある。〕
 - 混注口及びキャップ天面は混注又は採液前に消毒用アルコール綿等で消毒すること。〔細菌混入のおそれがある。〕
 - 混注口の消毒剤にポビドンヨードを使用しないこと。〔ポビドンヨードの析出物がスリットに浸入し、液漏れが生じるおそれがある。〕
 - 混注口に注射針を用いて混注等しないこと。〔混注口を破損させ、液漏れが生じるおそれがある。〕
 - 混注口にPNロックを接続する際は、ルアー部をまっすぐ押し込んだ状態でPNロックナットをそれ以上回らない位置まで右に回転させ、確実にロックされていることを確認すること。〔接続が不十分な場合、外れ、液漏れ又は空気混入が生じる。〕
 - PNロックとの接続を外す際は、PNロックナットを把持し、押しつけながら左に回転させて外すこと。〔PNロックナットを引っ張りながら回すと、本品の突起（ツメ）が削れ、ロックの固定ができなくなるおそれがある。〕
 - シリンジ、PNロック等を混注口から外す際は、他の接続部が緩まないように注意すること。
 - PNロックとの接続部には、横方向に過度な負荷を加えないこと。〔キャップ又は各接続部が外れるおそれがある。〕

10. 通気口キャップを閉じる場合は、通気口とキャップの凸部の位置を合わせてから押し込むこと。[位置がずれた状態で押し込んだ場合、通気口付近に破損が生じ、気密性が保てなくなるおそれがある。]

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 使用中は本品の破損、接続部の緩み及び薬液漏れ等について、定期的に確認すること。
2. 本品からの過度な加圧又は陰圧使用は行わないこと。[破損、液漏れ及び空気混入が生じるおそれがある。]

〈不具合・有害事象〉

その他の不具合

空気混入、漏れ、外れ、緩み、亀裂、曲がり、破損

【保管方法及び有効期間等】

〈有効期間〉

使用期限：3年 [自己認証(当社データ)による]

包装の使用期限欄を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社ジェイ・エム・エス

問い合わせ先

TEL 0120-923-107